

論理学Ⅰ(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

定期試験のみによって評価する。

合格するためにはトートロジーや意味論的妥当性に関するいわば「論理計算」を完全にマスターしている必要がある。また、優秀な成績を収めるためには、メタ定理の意味を十分に理解している必要があるだろう。

[教科書]

安井邦夫『現代論理学』（世界思想社）ISBN:978-4-7907-0397-6

[授業外学修（予習・復習）等]

論理学の学習は、たんなる情報の収集ではなく、論理的技術を身につけるという側面が大きい。それゆえ、受け身の態度では習得できず、自らの頭を使うことによってのみ知識を定着させることができる。予習は不要だが、復習はしっかりと行なうこと。

[その他（オフィスアワー等）]

適宜、宿題を課すので、受講者は積極的にとりくまれない。

[主要授業科目（学部・学科名）]